



但馬やまびこの郷
令和4年2月
Web版



兵庫県立但馬やまびこの郷

URL <http://www.t-yamabiko.asago.hyogo.jp/>

E-Mail Tajimayamabiko@pref.hyogo.lg.jp

□□□—□□□□

不登校児童生徒の保護者のみなさんにお便りします

やまびこ

ホッとする「やまびこ親の会」

11月21日(日)に、当所にてやまびこ親の会を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1日のみの実施です。午前中は「お互いを知ろう」で自己紹介とビンゴゲーム、「自分で選ぼう」でエコクラフトバッグ作りや当所にある展望台への散歩をしたあと、所長の講話がありました。午後からは5～6人のグループに分かれて「保護者交流会」を行い、その後、所長への質問コーナーを行いました。保護者交流会では、今の悩みを涙ながらに話される方もあり、当所を利用していた子どもの保護者から「泣いて良いよ」「わかる、わかる」「私もそうだった」などと声をかけておられる場面もありました。閉会后にも、まだまだ話し足りず、あちこちで話をされている様子が見られました。

参加された方がホッと、笑顔になり、帰る頃には気持ちが楽になれる「やまびこ親の会」。来年度も、多くの参加を心よりお待ちしております。



～ 参加者より ～

- 卒業生の保護者が、にこにこことあたたかく話してくださり、その言葉や雰囲気にごく心がホッとしました。
- 初めての参加で緊張していましたが、同じ悩みを持った参加者の話をきき、とても安心しました。また、勇気や希望ももてました。
- 他の保護者の考え方や子どもとの接し方など、たくさんのお話を聞くことができました。自分の考え方と同じだと「これで良かったんだ」と思いました。
- 自分が悩んでいることについて話しかけてくださる方があり、情報をいただけて嬉しく思いました。



まこさんからのメッセージ

「うちの子の不登校」について

語りあってみませんか

—こんなときどうする?—

兵庫県立但馬やまびこの郷所長 佐藤 眞子

新型コロナ感染拡大が始まって、まる2年が経とうとしています。大人も子どもも、マスク、手洗い、「密」の回避・・・。「そろそろ収束してくれない」という声が大きくなる一方ですが、国内各地ではコロナウイルスの変異株「オミクロン株」が感染拡大しています（令和4年1月現在）。マスコミは「パンデミックで、DVや虐待、不登校の児童生徒が増えた」と報道しています。平成25年度以降、不登校の子ども数は年々増加していましたから、「パンデミックのため」かどうか、はっきりとはわかりませんが、令和2年度の文部科学省の調査で不登校の児童生徒は、全国で196,127人となっていて、前年度（181,272人）と比べて大きく増加していることは確かです。



子どもは大人の不安を敏感に感じ取り、それを自分のSOSとして発信することがあります。とりわけ不登校の子どもは、高感度なカナリア。環境異変をいち早く感じ取ります。そのため、大人のコロナ禍の不安を子どもが代わって発信してくれているのかもしれませんが、大人の悩みは、仕事のこと、生活のこと、子育てのこと等々、たくさんあって、「大人を生きるのはつらいよ」と言いたくなるほどですが、中でも子育てについては、正解がないようなもので、「自分の子育ては違っているかもしれない」と不安になりがちです。「いいと思ってしてきたことだけど、間違っていたかもしれない」、「これからどうすればいいのか、わからなくなった」、「悩んでいるけど、今さら他人に尋ねることはできない」。でも、大人ももっと「助けて」と声をあげるといいのではないのでしょうか。もちろん解決法は一人一人違ってきますから、この方法が「押し」ということは言えないのですが、「子どもとのかかわりで、こんなときどうする?」を周りの人たちに尋ね、本音を語ってみると少し気持ちが落ち着きます。

例えば、こんな「不登校あるある」を親同士で語りあってみてもいいでしょう。

子どもをもてあましています

学校には「お預かり機能」があって、授業も部活動も、子どもを「留め置く」時間と場所になっています。でも、不登校が長引くと、去年のコロナ休校のときがそうであったように、せまい家に子どもがゴロゴロ。3食不規則にだらだら食べますし、いつ寝ているのか起きているのか。「ああ、うとうとしい」ということになります。最近は共働きの家庭も多く、朝、両親が出勤しますから、「子どもが何時に起きているか知りません」と言われることもまれではありません。「た

ぶん、昼前に起きて、そのへんにあるものを食べて、午後はゲームか YouTube をみてすごしているんでしょう。親と一緒に食べることはなくて、私たちが食べ終わってから、大分後になって一人で食べています。夜中にごそごそ台所で何か食べ散らかしていることもあります。もちろん『夜早く寝て、朝早く起きる規則正しい生活をしなさい』と言っていますが、不機嫌極まりない表情で、返事もしないで、自分の部屋に入っていきます。何とかならないでしょうか・・・」

不登校の子どもは、昼夜逆転になり、ゲームにはまり、親とあまり会話しなくなったりします。この時期、主に支援を求めているのは親ですが、実は子どもの方は親が変わっていくことを待っているようなところがあります。親同士で語り合っているうちに「一番困っているのは子ども本人なのかもしれませんね」というつぶやきがでてくるともあります。思いを語りあえる安心安全な「人」と「場所」があつてのことでしょう。



子どもの「これから」についての心配も語りあえるといいでしょう。

この先どうなるのでしょうか

ここ数年のことですが、小学生の不登校児童が増えています。「朝になるとお腹が痛くなります」、「学校が怖いと言います」、「きょうだいをいじめます」等々、心配なことはたくさんあります。「これからも家に居続けるのでしょうか」と語ると、涙がこぼれます。

中学生では、進路が気になりはじめます。中学2年や3年になると「こんなに欠席が多くて、入れる高校があるのでしょうか」と心配そうに語られます。『どんなことがしたいの?』、『遠くでも通える?』、『寮生活してみたら?』といろいろ尋ねても、『わからん』、『何もしたいことがない』、『毎日通うのはムリ』などと言います」とご両親。「そうそう、うちも最初はそうだった」と先輩親が話されると、「そんなときどうされました?」と尋ねます。「こんな高校もありますよ」と貴重な情報をいただけることもあります。

「これまで長く学校を休んできたのに、高校になってすぐに登校したり、勉強したり、できるとは思えない」と言われる親御さんも多いのですが、ここでも「子どもはどんどん成長しますよ。うちの子は中学生時代ほとんど登校できていなかったのに、不思議なことに高校生になったら急に登校し始めました」と先輩親が話されると、「そんなこともあるのですか?」と半信半疑ながら、少し安心できたりします。進路を考える際にも、一緒に語りあえる安心安全な「人」と「場所」が必要でしょう。

「不登校の親同士ってなかなか知りあえないんです」という声をよくお聞きしますが、但馬やまびこの郷では、来所された親御さん同士が親しくなられることも多く、また、「やまびこ親の会」や「地域やまびこ教室」などでは、小学校・中学校時代に子どもの不登校を経験した「先輩親」からもお話を聞く機会があり、「うちの子の不登校」について語りあうことができます。

「物語る権利は他の権利ほど知られていないが、重要である」

「すべて人は、自身の困難による学びが類似状況にある他者の人生に貢献することを知り、経験する権利を有する」(D.デンボロウ・小森他訳「ふだん使いのナラティブ・セラピー」, 2016)。これまで一度もしたことのない話を語りながら、希望を呼び戻してみてください。



地域やまびこ教室

地域やまびこ教室では、但馬やまびこの郷のスタッフが県内5カ所に出かけ、体験活動や保護者交流会を行っています。第3～5回の活動の様子と保護者交流会に参加された保護者の方の感想を紹介させていただきます。

第3回 国立淡路青少年交流の家

芝生広場で、川に見立てたところをマットを置いてわたったり、遠く離れた円までボールを運んだりする活動をしました。



第4回 県立山の学校

チェーンソー体験や椅子作りをしました。



第5回 県立嬉野台生涯教育センター

ターザンロープで川を渡ったり、協力してボールを運んだりしました。



保護者の感想

- 保護者交流会で、子どもに対する接し方や子育てについて、いろいろと勉強になりました。
- 保護者交流会に参加し、今、不登校でも、その子どもの成長ペースがあり、親も見守りつつ、日々健やかに過ごしていこうと思いました。
- この日を楽しみに体調を整えている子どもの姿を見て、喜びを感じています。

進路相談会

9月26日(日)に但馬やまびこの郷で進路相談会を行いました。不登校児童生徒を積極的に受入れている県立神出学園、県立山の学校、生野学園高等学校、吉備高原学園高等学校、クラーク記念国際高等学校豊岡キャンパス、日生学園青山高等学校、KTC おおぞら高等学院姫路キャンパス、第一学院高等学校養父校、F. S. 播磨西高等学院、専修学校西宮甲英高等学院から各校について説明をしていただいたあと、個別ブースでの相談を行いました。中学3年生だけでなく、2年生の参加もあり、個別ブースでは熱心に話を聞かれました。



兵庫県立但馬やまびこの郷保護者向け機関紙「やまびこ」web版 ●令和4年2月
●兵庫県立但馬やまびこの郷 ●〒669-5135 兵庫県朝来市山東町森字向山 45-101
●TEL (079) 676-4724 ●FAX (079) 676-4721